

発行所: ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住 所: 京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人: 山本 明広 編集人: 経営政策部

2024-No.13
2025年 3月 18日

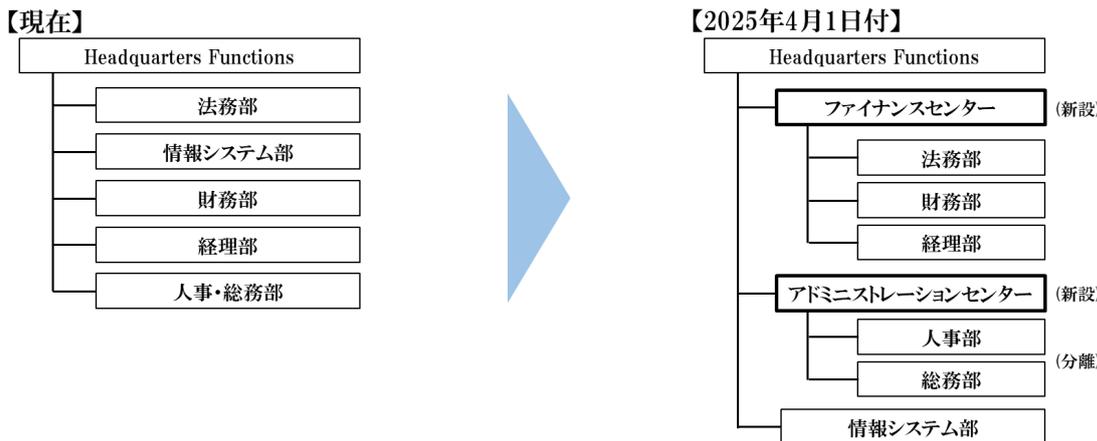
この度、会社側より「2025年4月1日付 NTCJ直轄組織の組織変更について」の申し入れを受けました。諸問内容および現時点でのヌヴォトンテクノロジージャパン労働組合（以下、NTJ労組）のスタンスを報告します。

～ 申し入れの要旨 ～

1. 背景および主旨

NTCJの持続的成長ならびに更なる競争優位性の確保を目的に、各コーポレート機能の意思決定プロセスの高位平準化と相互互換性の高い機能連携を促進することで、『Headquarters Functions』として、ビジネス軸を強化するためのトータルマネジメント力を底上げし、常に戦略的思考から迅速かつ高効率な事業運営を実現・サポートできる体制を構築するために『Headquarters Functions』の法務機能、財務機能、経理機能をトータルで統括する「ファイナンスセンター」を新設し、その傘下に既存の「法務部」、「財務部」、「経理部」を移管します。また、「Headquarters Functions」の人事・総務安全衛生の機能は、人的資本経営の更なる強化と、社員エンゲージメントの一翼を担うオフィスファシリティ機能を付加した「アドミニストレーションセンター」としてレイヤーアップし、その傘下に「人事部」と「総務部」を移管・設置します。

2. 体制図



3. 実施日 2025年4月1日

NTJ労組のスタンス

今回の組織変更は、法務機能、財務機能、経理機能を統括する「ファイナンスセンター」を新設し、人事・総務安全衛生の機能は、人的資本経営の更なる強化を目的に、「アドミニストレーションセンター」としてレイヤーアップするとともに、その傘下の人事機能と総務機能を分離することで、より職能としての専門性の発揮と意思決定のスピード化を促進することは必要だと考えます。さらに「人事部」には、優秀人材の採用から教育、魅力ある人事制度への更新と文化の創出、職制支援などを通じ、一貫して社員のパフォーマンスの最大化と企業成長を目的にするものであり、NTCJが目指す人と会社がともに成長することに繋がる組織変更であると受け止めています。

労働組合としても、直轄組織の体制を見直し強化することは、グローバル半導体メーカーとして持続的な成長を支え、競争優位性を確保するための施策として理解しました。本施策の目的を達成するためには、大義を理解したNTCJとしてのオペレーションとマネジメントが重要になります。

職場視点で徹底して論議したうえで、想定される課題に対して先手を打つことが重要と考えますので、職場からの課題提起、意見提起をよろしく願います。

今後のスケジュール

